

伊良原ダム事業検証に関する検討

報告書 正誤表

福岡県

伊良原ダム検証に係る検討 報告書(福岡県 平成23年1月)正誤表

章	ページ	箇所	誤	正																	
2 章	2-9	(1) 過去の主な洪水 7行目	平成7年7月（前線）等である。	(記入漏れ) 平成7年7月（前線）、平成9年9月（台風）等である。																	
2 章	2-9	表2-2 主要洪水	—	(記入漏れ) <table><tr><th rowspan="2">発生年月</th><th rowspan="2">出水概要</th><th colspan="2">水文状況</th><th rowspan="2">被害状況</th></tr><tr><th>24時間雨量 (mm)</th><th>実績雨量 (m3/s)</th></tr><tr><td>S58年7月</td><td>4日から5日にかけて、梅雨前線による豪雨。</td><td>約180</td><td>欠測</td><td>公共被害3億4千万円 H15. 単価による換算</td></tr><tr><td>H7年7月</td><td>活発な梅雨前線が九州中部に停滞し、3日から5日にかけて、激しい降雨となった。</td><td>約220</td><td>約390</td><td>公共被害1億1千万円 H15. 単価による換算</td></tr></table>	発生年月	出水概要	水文状況		被害状況	24時間雨量 (mm)	実績雨量 (m3/s)	S58年7月	4日から5日にかけて、梅雨前線による豪雨。	約180	欠測	公共被害3億4千万円 H15. 単価による換算	H7年7月	活発な梅雨前線が九州中部に停滞し、3日から5日にかけて、激しい降雨となった。	約220	約390	公共被害1億1千万円 H15. 単価による換算
発生年月	出水概要	水文状況		被害状況																	
		24時間雨量 (mm)	実績雨量 (m3/s)																		
S58年7月	4日から5日にかけて、梅雨前線による豪雨。	約180	欠測	公共被害3億4千万円 H15. 単価による換算																	
H7年7月	活発な梅雨前線が九州中部に停滞し、3日から5日にかけて、激しい降雨となった。	約220	約390	公共被害1億1千万円 H15. 単価による換算																	
2 章	2-29	図2-22 名称	田川地区の水需給計画	(誤記) 京築地区の水需給計画																	
4 章	4-11	【結果】 2行目	貯水容量は68万m ³	(誤記) 貯水容量は8万m ³																	
4 章	4-40	図4-5 2次選定欄 流域を中心とした対策22・23・24・25	<table><tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	22	23	24	25					(誤記) <table><tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td></tr><tr><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr></table>	22	23	24	25	×	×	×	×	
22	23	24	25																		
22	23	24	25																		
×	×	×	×																		
4 章	4-43	(2)改修内容及び概算事業費 主な改修内容	築堤5.2万m ³	(誤記) 築堤4.3万m ³																	
4 章	4-46	(2)改修内容及び概算事業費 主な改修内容	築堤10.4万m ³	(誤記) 築堤8.7万m ³																	
4 章	4-49	(2)改修内容及び概算事業費 主な改修内容	築堤15.1万m ³	(誤記) 築堤12.6万m ³																	

4 章	4-52	(2) 改修内容及び概算事業費 主な改修内容	築堤14.5万m ³	(誤記) 築堤12.1万m ³
4 章	4-61	(2) 総合評価 1行目	総合評価を行った結果、安全度やコスト、実現性の観点からは、現在の事業の進捗状況を踏まえると、現計画案が優位となった。	(誤記) 総合評価を行った結果、コスト、実現性の観点からは、現在の進捗状況を踏まえると現計画案が優位である。また安全度については広範囲で最も早く、大きく効果を発揮する。環境に与える影響については、現計画案以外の案が相対的に優れると考えられるが、各案とも環境への影響の懸念はある。現計画案は環境影響評価における環境保全措置を実施することで、影響の回避・低減を図っている。
4 章	4-69	【結果】 8行目	—	(記入漏れ) なお、その他の河川（城井川等）は、流量が極めて少ないため、対象とならない。
4 章	4-77	【結果】 1行目	水利権が付与されていない遠賀川河口堰のダム使用権 21,000m ³ /日は、自然災害、施設事故、テロなどの緊急時に、水道用水を福岡都市圏と相互に融通する事業に用いるため、水利権の許可申請中である。	(誤記) 水利権が付与されていない遠賀川河口堰のダム使用権 21,000m ³ /日は、北九州市が行う水道用水供給事業に用いるため、水利権の許可申請中である。
4 章	4-93	(2) 総合評価 1行目	総合評価を行った結果、コストや実現性、地域社会への影響の観点からは、現在の事業の進捗状況を踏まえると、現計画案が優位となった。	(誤記) 総合評価を行った結果、コストや実現性、地域社会への影響の観点からは、現計画案が優位である。環境に与える影響については、現計画案以外の案が相対的に優れると考えられるが、各案とも環境への影響の懸念はある。現計画案は環境影響評価における環境保全措置を実施することで、影響の回避・低減を図っている。
4 章	4-99	【結果】 1行目	日最大補給量は約270,000m ³ /日である。	(誤記) 日最大補給量は約275,357m ³ /日である。
4 章	4-99	【結果】 3行目	井戸が併せて11,000m ³ /日であるため、	(誤記) 井戸が併せて11,111m ³ /日であるため、
4 章	4-99	【結果】 4行目	約27倍の供給能力が	(誤記) 約25倍の供給能力が

4 章	4-99	【結果】5行目	新たに650本の井戸が	(誤記) 新たに625本の井戸が																												
4 章	4-100	【結果】2行目	考えられる上流域①～④の	(誤記) 考えられる中～上流域の																												
4 章	4-100	【結果】表	①～④流域のため池	(誤記) 中～上流域のため池																												
4 章	4-101	3行目	適用が困難である3案を除く案を除く、10案を一次選定した。	(誤記) 適用が困難である4案を除く、9案を一次選定した。																												
4 章	4-101	図4-40 1次選定欄 需要面・供給面での総合的な対応が 必要なもの13	13 ○	(誤記) 13 ×																												
巻末	巻-4	表 巻1-2 コスト欄 対策案3 表 巻1-2 コスト欄 対策案4	<table><tr><td>260億円</td><td rowspan="3">△</td><td>181億円</td><td rowspan="3">△</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 88億円【振替費用】 ・ 76億円【水道施設】 ・ 94億円【導水施設】</td><td>・ 88億円【振替費用】 ・ 87億円【水道施設】 ・ 6億円【導水施設】</td></tr><tr><td>415億円</td><td rowspan="2">△</td><td>489億円</td><td rowspan="2">△</td></tr><tr><td>・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】</td><td>・100億円【ダム】 ・269億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】 ・ 74億円【浄水負担金】</td></tr></table>	260億円	△	181億円	△	—	—	・ 88億円【振替費用】 ・ 76億円【水道施設】 ・ 94億円【導水施設】	・ 88億円【振替費用】 ・ 87億円【水道施設】 ・ 6億円【導水施設】	415億円	△	489億円	△	・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】	・100億円【ダム】 ・269億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】 ・ 74億円【浄水負担金】	(誤記) <table><tr><td>260億円</td><td rowspan="3">△</td><td>181億円</td><td rowspan="3">△</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>・ 88億円【振替費用】 ・ 78億円【水道施設】 ・ 94億円【導水施設】</td><td>・ 88億円【振替費用】 ・ 52億円【水道施設】 ・ 41億円【導水施設】</td></tr><tr><td>415億円</td><td rowspan="2">△</td><td>489億円</td><td rowspan="2">△</td></tr><tr><td>・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】</td><td>・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】 ・ 74億円【浄水負担金】</td></tr></table>	260億円	△	181億円	△	—	—	・ 88億円【振替費用】 ・ 78億円【水道施設】 ・ 94億円【導水施設】	・ 88億円【振替費用】 ・ 52億円【水道施設】 ・ 41億円【導水施設】	415億円	△	489億円	△	・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】	・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】 ・ 74億円【浄水負担金】
260億円	△	181億円	△																													
—		—																														
・ 88億円【振替費用】 ・ 76億円【水道施設】 ・ 94億円【導水施設】		・ 88億円【振替費用】 ・ 87億円【水道施設】 ・ 6億円【導水施設】																														
415億円	△	489億円	△																													
・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】		・100億円【ダム】 ・269億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】 ・ 74億円【浄水負担金】																														
260億円	△	181億円	△																													
—		—																														
・ 88億円【振替費用】 ・ 78億円【水道施設】 ・ 94億円【導水施設】		・ 88億円【振替費用】 ・ 52億円【水道施設】 ・ 41億円【導水施設】																														
415億円	△	489億円	△																													
・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】		・100億円【ダム】 ・169億円【水道施設】 ・146億円【水道施設更新費】 ・ 74億円【浄水負担金】																														